# これからの（時代の）子育て!?

…というタイトルをつけたものの“正しい、これからの子育て”という問いに誰もこれといった正解を持っていないのではないかと感じています。もちろん一人一人の子どもの実態や環境が違うということもありますが、なによりこれからの未来が誰も経験したことのない予測不可能な時代と言われているからでしょう。AI（人工知能）の発達により生活はますます便利になっていく反面、将来的には今の労働人口の 49%が人工知能で代替可能と言われています。そんなこれからの社会を生き抜くために今、子どもたちにどんな力を身につけさせなければいけないのかが教育の分野で重要な課題となっています。子育てと教育は人と AI（人工知能）の役割分担が簡単に線引きできない分、課題は同じかと思います。なかなか難しい課題とも思われますが、簡単に考えれば、人が AI（人工知能）にできない力を身に着けることがポイントなのかなと思います。正解のある問題や課題は AI（人工知能）の最も得意とする分野です。知りたいことはインターネットで検索すれば簡単に正解と思われる情報を得ることができます。しかし、世の中、正解（ベストな答え）だけで回っているわけではありません。正解のない問題や課題こそ AI（人工知能）が不得意としていると言われています。一つの例で言うと『人間関係』などはなかなか正解が見つからない場合が多くあります。人が本来持っている「感情、感性、感覚」や「想像（イメージ）、創造」を駆使することで**『ベスト』**な答えが見つからなくても**『ベター』**な着地点は見出すことはできます。AI（人工知能）が発達してもなくならない職業の多くは人との関係性が必要不可欠なものが多いと言います。何が答えかわからない中でも、人とのつながりを大切にしながら生きていくことは、過去も未来も変わらないようです。そう考えると「これまでの子育て」も「これからの子育て」も大切にしていくことは同じのようです。これからも人間らしい、感性、感覚を大切にしながら**『子どもの自立』を目指した『子育て』**についてともに考えていきましょう！

## 2学期もありがとうございました！

今年も残りわずかとなりました。今年は学校行事や部活動だけでなく『チャレンジ下城 day』でも子どもたちのさまざまな可能性に気づくことができました。成功、失敗を繰り返す中で、子どもたちはしっかりと成長した姿を見せてくれています。保護者の皆様の陰ながらのご支援にあらためて感謝いたします。令和 6 年度も早いもので残り 3 か月余りとなりました。3 学期はそれぞれの学年のまとめの時期であると同時に、令和 7 年度への準備の期間でもあります。
引き続き本校へのご理解とご協力をお願いいたします。

よいお年をお迎えください